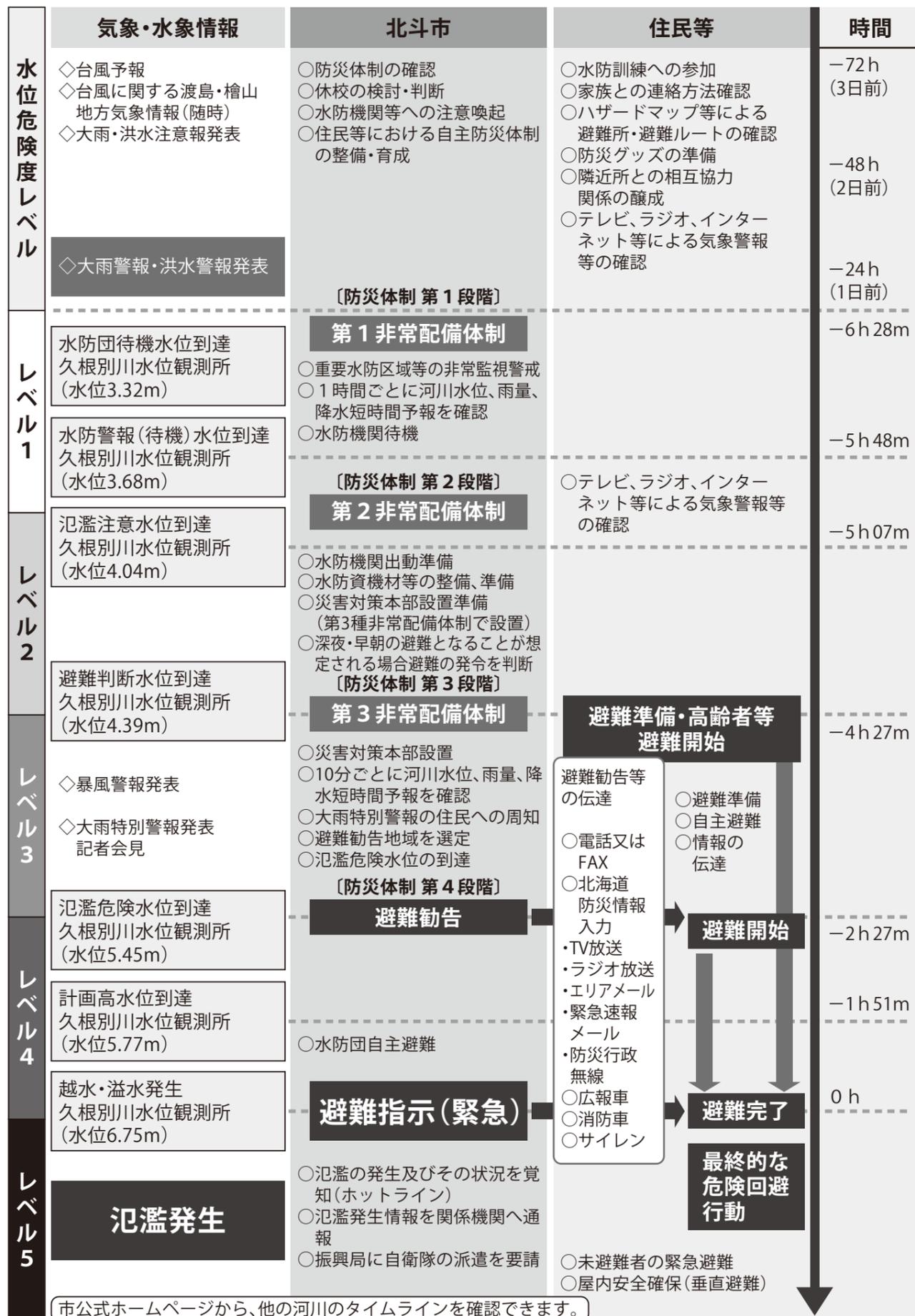


タイムライン時系列の概要(久根別川の例)



### 「防災タイムライン」の運用について

日本では7月から9月にかけて大雨や台風が発生しやすくなります。昨年は、台風15号により千葉県では大規模停電が発生し、台風19号により東京都では初となる特別警報が発令されたほか、各地で河川の氾濫や堤防の決壊などにより多くの死傷者が発生しました。特に福島県の阿武隈川流域では多くの河川が氾濫し、30名が亡くなり、そのなかでも高齢者が多く犠牲になっていました。

被害を最小限にするためには、市やメディアなどから発信される気象情報を、町内会など近所の住民の方々と家族と共有し、早め早めの避難行動をとることが重要となります。

今回は、「北斗市防災行動計画(タイムライン)」と「大雨警戒レベルの彩色」についてお知らせします。

#### 北斗市防災行動計画(タイムライン)

市では、台風や大雨による人命被害や洪水被害を減災するため、タイムライン防災を取り入れています。タイムラインとは、防災関係機関が連携し、災害時に発生する状況をあらかじめ想定して共有したうえで、「いつ」「だれが」「何をするか」に着目し、防災行動との実施主体を時系列で整理した計画です。

風水害のように、災害発生までの現象が長時間にわたり、事前に災害や被害規模が想定できる場合は、災害発生前の早い段階で、防災関係機

#### タイムラインのメリット

タイムラインを策定することにより、あらかじめ先を見越した「事前の対応」を定めることができ、対応の遅れによる被害拡大を回避することが期待されます。

また、各防災関係機関ごとの役割が一覧として可視化されることで、役割分担を明確化でき、市役所と防災関係機関との顔の見える協力関係を築けます。

市では、タイムラインについては「事前の対応の連携」と「住民の避難行動」に着目して整理しており、発災後の対応を記述した「地域防災計画」と併用して運用することとしています。

#### 大雨警戒レベルの彩色

大雨警戒レベルとは、大雨時の危険度を5段階のレベルに分け表した

警戒レベルの色分け(表紙右下参照)

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
(黒) 警戒レベル5相当情報	災害発生情報	災害がすでに発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
(紫) 警戒レベル4相当情報	避難勧告・避難指示	危険な場所にいる方は速やかに避難してください。
(赤) 警戒レベル3相当情報	避難準備 高齢者等避難開始	避難に時間を要する方(高齢者、障がい者、乳幼児等)は避難してください。
(黄) 警戒レベル2相当情報	洪水注意報 大雨注意報	避難に備え、災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認してください。
(白) 警戒レベル1	早期注意報	最新の防災気象情報に留意するなど、災害への心構えを高めてください。

大雨時に適切な避難行動を速やかにとれるよう備えてください。